

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ 臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、下掲「9.お問合せ先」まで遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

血流感染症における薬剤耐性菌検出に関連する臨床的因子の探索的研究

1. 対象となる患者さん

2017 年 1 月 1 日から 2026 年 12 月 31 日の間に当院で血流感染症（血液培養陽性）の診断を受けられた患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 総合診療科 大野 史郎

3. 研究の目的と意義

血流感染症は入院患者さんにおける主要な死亡原因の一つであり、適切な初期治療が予後を左右します。近年、薬剤耐性菌（抗菌薬が効きにくい細菌）が増加しており、どのような患者さんに薬剤耐性菌が検出されやすいかを明らかにすることが重要です。

特に膠原病などで免疫を抑える治療を受けている患者さんでは、薬剤耐性菌による感染が心配されていますが、実際にどのような因子が薬剤耐性菌検出のリスクとなるのか、十分に分かっていません。

本研究では、血流感染症の患者さんにおいて、薬剤耐性菌が検出されるリスク因子を明らかにすることを目的としています。この研究により、適切な抗菌薬の選択や使用法の改善につながる事が期待されます。

4. 研究の方法

対象となる患者さんのカルテから情報を収集し、血液培養の結果、使用していた薬剤、基礎疾患、血液検査結果などの情報を調査します。これらの情報をもとに、薬剤耐性菌が検出された患者さんと検出されなかった患者さんの特徴を比較し、リスク因子を分析します。

5. 使用する情報

診療情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴（基礎疾患）、膠原病診断の有無、血液培養結果（検出菌種、薬剤感受性試験結果）、使用薬剤（副腎皮質ステロイド、免疫抑制剤など）、入院歴、感染症情報（感染巣、院内感染・市中感染の別）、血液検査結果（白血球数、CRP、腎機能、肝機能など）、入院期間、予後

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2028 年 3 月 31 日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 総合診療科 大野 史郎

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：shiroono0207@naramed-u.ac.jp